

小浜港に「にっぽん丸」が入港しました。

10月28日に大型観光船「にっぽん丸（22,472トン）」が乗客約370人を乗せ小浜港に入港しました。

にっぽん丸の寄港は2006年以来2回目で、小浜港への大型観光船の入港は10月6日の「ぱしふいっくびいなす」につぎ、今年2隻目の入港となりました。

多くの乗客が、沖に停泊した「にっぽん丸」から小型船で上陸され、雲仙の紅葉や、島原市内の観光などを楽しまれました。



小浜港沖に停泊中の「にっぽん丸」

手前に見える東屋は小浜温泉の新たな観光名所となった足湯「ほっとふっと105」、源泉温度105°にちなみこの名前が付けられました。



島原市内では島原城や武家屋敷などを観光されました。

島原城は松倉豊後守重政が1618年から7年の歳月をかけ築城し、現在の建物は昭和35年から55年までに復元されたものです。



小浜の夕日を背にした「にっぽん丸」

小浜からは、とてもきれいな夕日を眺めることができます。

「にっぽん丸」は、この後、次の寄港地である対馬に向け出港しました。
またのお越しをお待ちしています。